

第162号/静岡県



消防学校 ニュース



令和7年7月号

初任科 校長通常点検

— ついに来た！緊張の一瞬 —



グラウンドに全員整列



通常点検開始



校長による厳しい点検



緊張する初任科学生



校長からの訓示

初任科学生が入校して3か月が経過し、この間、毎朝欠かさず教官による通常点検を実施してきました。

通常点検とは、消防活動に際し有効適切な措置をとるよう、人員、姿勢、服装、手帳等の点検をし、その不備の点を整備又は反復訓練して是正し、常に消防活動の万全を期するようしておくことを目的としています。

6月25日(水)、ついに校長による通常点検が実施されました。校長点検は学校に慣れてきた初任科学生にとって大いに気が引き締まる場面です。

初任教育本格化

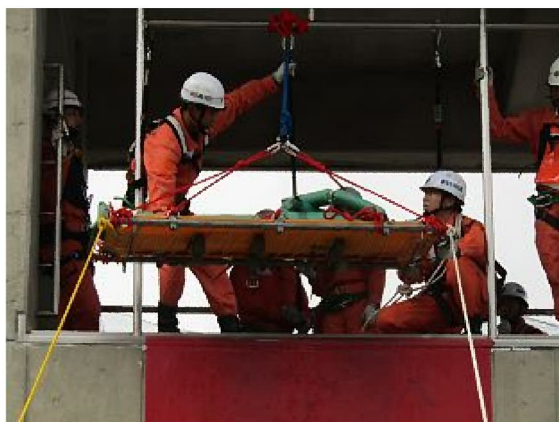
～基本なくして応用なし～



座席懸垂降下訓練



ロープ渡過訓練



一箇所吊り担架水平救助訓練



強制ドア開放訓練



破壊器具取扱訓練（チェーンソー）



破壊器具取扱訓練（エンジンカッター）



防火衣着装訓練



三連はしご訓練



シャッター水圧解錠訓練



注水訓練



ホースカー取扱い訓練



立体的ホース延長訓練



救急訓練



スキンダイビング



手話

入校して約3か月、座学・実科訓練及び寮生活を通じて、徹底的に必要な基礎教育が行われてきました。

これから本格的な夏を迎え、気温も更に高くなり、厳しい環境下での教育訓練になります。

今後も、学生は「あたりまえ力」はもちろんのこと、自らが「気づき・考え・行動」できるように、教官の厳しい指導を受け訓練に臨みます。

危険物取扱者試験

初任科第 96 期

「危険物取扱者試験」は、消防法に基づく危険物（火災の危険性が高い物質をまとめて指定）の取扱いや、その取扱いに立ち会うために必要となる国家資格です。資格取得のための試験は、現在、全都道府県の指定試験機関（総務大臣が指定）である一般財団法人消防試験研究センターが行っています。

消防試験研究センター静岡県支部の協力により、6月20日（金）、本校において初任科生を対象とした危険物取扱者試験が実施されました。

（担当教官のコメント）

本年度の危険物取扱者試験では、乙種第4類の受験者は130人、乙種第4類の既得学生8人は「他の類」を受験しました。「**必達目標：初任科第96期全員合格！！**」を目標に掲げ、入校して直ぐに学習を始めました。

試験に係る学習により、『火災のメカニズム』や『消火理論』を十分に学ぶことができるとともに、広範多岐にわたり利用されている『危険物』に対する知識も習得することができます。学生には、「危険物取扱者試験」に関する知識を習得することは、日々、災害対応する消防職員にとって必要不可欠であることなど、本資格試験にチャレンジする目的や重要性を十分に説明した上で、一丸となって試験対策に取り組みました。

その中で、今年度は自発的に複数受験にチャレンジし、見事複数の合格をした学生もいます。

目標の全員合格は達成できませんでしたが、乙種第4類の全国の合格率38.3%を大きく上回る73.1%の合格率で試験を終えました。

学生は、試験を通じて集団生活での勉強の難しさ、時間の有効活用等、多くの事を学んだと思います。

今後は「他の類」や予防技術検定等、消防業務に関係する試験に積極的に臨んでほしいと思います。

教務課主査 都築 克典（静岡市消防局から派遣）

本試験を**満点**で合格した学生



志太 大村学生

複数受験をして合格した学生



【1類・6類】富士 室伏学生



【3類・6類】掛川 内山学生

試験結果

	受験者	合格者	合格率
乙種第4類	130人	95人	73.1%
乙種第1・3・6類	8人	7人	87.5%
全体	138人	102人	73.9%

新任教官紹介

～大いなる成長を期待しています！～

今年度、消防学校に新たに加わった4人の教官を紹介します。4人は4月からの慌ただしい中、先輩教官の指導の下、試行錯誤しながら、初任科学生からの刺激も受け、業務に取り組んでいます。優秀な教官を派遣していただいている消防本部（局）には、心より感謝申し上げます。



教官を拝命し、早3か月が経ちました。燃えるような情熱と使命感を胸に消防の門を叩いた学生たちと共に、私自身も熱い毎日を過ごしています。着任当初、一抹の不安を抱えていた私を奮い立たせてくれたのは、目の前の困難な訓練に真摯な眼差しで立ち向かう学生たちの姿でした。泥と汗にまみれながらも、決して諦めないその姿は、消防士として最も大切な「不屈の精神」を体現しており、教える立場でありながら、日々多くのことを学ばせてもらっています。

これからの訓練は、さらに厳しさを増していきます。しかし、苦しい時こそ周りを見て下さい。そこには、同じ志を持ち、互いに支え合える生涯の仲間がいます。同期の絆を大切に、そして何よりも安全管理を徹底し、一人も欠けることなく逞しい消防士へと成長してくれることを心から願っています。私も初心を忘れることなく、学生一人ひとりと真剣に向き合い、彼らが市民の皆様の期待に応えられる消防士となれるよう、全力でサポートしていく所存です。

教務課主査 蛭間 淳（静岡市消防局から派遣）

4月から消防学校の教官として勤務しています。この3か月は、4月からの初任科教育、水難救助科の主担当として兎に角走り続けてきました。私自身、過去に専科教育で消防学校に入校したことがなかったためか、たった3か月ですが、勤務を通じて多くの方と出会えたことに感謝しています。

「セオリーは反復することで作られる」という言葉を先輩に掛けられたことがあり、私の好きな言葉の1つです。訓練や現場を重ねることで、個人やチームの活動セオリーが作られるという意味です。特に初任科生には、所属に戻った後、訓練や現場での経験を重ねることでチーム（所属・部隊）の一員としてセオリーを作っていくために必要な基礎・基本を伝えられるようサポートしていきたいです。

教務課主査 浅井 光貴（袋井消防本部から派遣）



消防学校に赴任してから早くも3か月が経過しました。振り返れば、あっという間の毎日でありましたが、非常に充実した時間を過ごすことができています。消防学校は、消防職員としての基礎・基本を徹底的に教育する場であり、同時に社会人としての自覚や責任感を養う重要な場でもあります。その中で、厳しさの中にも常に愛情を持ち、次の世代を育てるという強い使命感を持って教育に臨んでいます。自身も教育者としての自覚を持ち、日々の指導にあたる中で、改めて言葉の重みや模範となる行動の大切さを痛感しています。今後も初心を忘れず、消防人として、また教育者として成長していけるよう努めています。最後になりますが、所属の関係上司・職員に感謝し3年間の職務を全うします。

教務課主任 菅野 格太（熱海市消防本部から派遣）



人事異動で今年の4月から消防学校に着任し、3か月が経過しました。「教官」という立場で講義や訓練に臨み、初任科学生以上の戸惑いと驚きを日々感じていますが、同時に貴重な経験ができる環境にいることに感謝しています。

学生たちには消防学校での経験を糧に立派な消防士として成長するとともに、公務員として職務に係る倫理、品位及び責務を理解した上で、修了してほしいと思います。そのために、自らも精進し続け、情熱をもって学生たちに向き合いたいと思います。

教務課主任 青木 宏人（県職員）

白鳥校長の一言（時事雑感）

熱中症対策

今年も暑い日が続いています。自分の子供の頃と違い、クーラーのない生活は最早考えられない。こうした中で、去る6月1日から、熱中症対策を講じることが義務化されました。これは労働安全衛生法に基づく規則の改正によるもので、必要な対策を怠った場合には、事業者には罰則が科される内容になっている。

消防学校の場合は悩ましい。法令に即した対策に取り組みつつも、炎天下のような過酷な環境下でもハードワークできる「消防人づくり」が求められているからだ。それ故、熱中症に注意しながらも、一定の暑さの中で必要な訓練を行っている。いわば、相反するミッションの達成を同時に目指すことも言える。どの消防本部も同様の難しさを抱えているのではないだろうか。

本校では、「暑熱順化」と呼ばれる予防策を進めることはもちろん、各人の健康状況の把握、体調管理支援に加え、訓練中はWBGT（熱中症指数）の常時測定と指数に応じた訓練内容の変更等の判断、水分の適時適切な補給…など様々な対策を講じている。しかし、これで絶対という訳ではない。一方で、暑さに十分対応できる体力や気力を養うことも求められている。この時期は、細心の注意や心配りが必要になる。

熱暑と戦っているのは学生だけでなく、教官も同じだ。ともすると、教官の方が過酷な状況に置かれることもある。学生は訓練中に水分補給することが可能だが、教官はそれが叶わない状況もある。休憩中も、学生からの「報・連・相」を受けたり、講師からのメールや照会を確認することも必要になる。実科の授業を終え、教官が玉のような汗をかきつつ笑顔で戻ってくる時には、安堵と感謝の気持ちでいっぱいになる。学生のために、一身を捧げる教官の姿は尊い。

初任科教育も折り返し地点を過ぎた。9月末の修了式までは、恐らくこの暑さが続くと思う。学生、教官ともに暑さと戦い、無事に乗り越えてくれることを祈らずにはおられない。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
☎: 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

